

## 日本語の文型の授業としてKartu Soal によるメディアの使用結果

(2016/2017 学生Yake高等学校2のソーシャル一年生のクラス実験研究)

ジャカルタ国立大学

ディアジェン アユ リスタンティ

diajengayuristanti@gmail.com

### 概要

#### A. はじめに

大部分の学習者にとって、日本語を学ぶことは簡単ではない。本研究を始める前に、ジャカルタのYake高等学校一年生を対象とした16人のアンケート結果を見ると、学習者の 56,25% は日本語の文型が難しいと答えている。Dale によると、【見て学習する】75%、【聞いて学習する】13%、【その他】12%だということである。楽しく学べるように、教育方法の変化が必要である。Silberman のHamalik によると、授業中にメディアを使うと学習者の勉強意欲を高めるであろう (Azhar, 2011: 19)。それはKartu Soal というカードをゲームである。研究者は日本語の文型として、Kartu Soal のメディア教材使って動機を与え、学習者は自信を向上して日本語の文型の授業が楽しくなる。

本研究の目的は3つであり、次のとおりである。

1. 日本語の授業でKartu Soalのメディアの利点と弱点を知るためである。
2. Yake高等学校一年生に日本語の文型の授業として、Kartu Soalのメディアの有効性を知るためである。
3. Yake高等学校一年生に日本語の文型の授業として、Kartu Soalのメディアの利用に学習者の印象を知るためである。

## B. 研究方法

この研究は2017年5月16日から2017年5月24日まで行った。本研究のデザインはOne Group Pretest Posttestである。研究の対象はジャカルタのYake高等学校1年生である。サンプルは1年生で、ひとつのクラスだけで行った。データの収集方法は研究前のテスト、事前テスト、事後テスト、最後にアンケートを用いた。

## C. 研究結果と分析

### 1. テストの数値

テストの計算結果の表

計算結果	事前テスト	事後テスト
平均点	26,125	91,625
標準偏差	14,603	5,58
標準エラー	3,771	1,417
t表	2,042	
t数	16,261	

上の表によると、サンプル16人の自用度は30で、5%有意義のt表は2,042点で、t数は16,261点である。t数はt表より大きいので、Hkが採用されている結果となった。つまり、Yake高等学校1年生16人において、日本語の授業におけるKartu Soalのメディアの使用は非常に効果的という分析結果である。

## 2. アンケートの分析

16人の学習者に対するアンケートの調査に基づいて、次の結果になった。

- 1) 87,50% の学習者は「Kartu Soalのメディアを使った日本語の文型の授業は楽しくなる」と答えている。
- 2) 93,75% の学習者は「Kartu Soalのメディアを使った日本語の文型の授業に手応えを感じている」と答えている。
- 3) 68,75% の学習者は「Kartu Soalのメディアを使った日本語の文型の授業は勉強意欲を高める」と答えている。
- 4) 81,25% の学習者は「日本語の授業で”Kartu Soalのメディア”は良い教材になっている」と答えている。

## D. おわりに

本研究のデータに基づいて、日本語の文型の授業におけるKartu Soalのメディアの使用は非常に効果的であることが、t数の数値から分かった。更に、アンケートの結果により、日本語の文型の授業における”Kartu Soalのメディアの使用”は、動機を与えて自信を向上することが確認できた。